

日本の大会だから日本の馬で専用品種でないハンデ望むところ!!

元高校王者

吉田匡慶

東農大

元競走馬 国産サラブレッドで

国産サラブレッドで大学馬術界の頂点へ。東農大伝統の目標に、1年生が挑む。吉田匡慶(まさよし)。

▼吉田匡慶(よしだ・まさよし) 1995(平成7)年8月30日生まれの19歳。福岡県太宰府市。168㌢、62㌔。東農大1年。小2から馬術を始め、上智福岡高1年時の2011年、高校総体に相当する全日本高校馬術選手権大会で優勝。弟2人も馬術選手。

障害を跳び越える東農大の吉田匡慶とアルバートル号。大学馬術の頂点目指し、挑戦を続ける。東京都世田谷区の馬事公苑で(中西祥子撮影)



大学馬術の頂点

小2から始める…

「国産の、サラブレッドで大会に勝ちたい。そう思って、農大に入りました」

19歳、まだ顔立ちに幼さの残る吉田が断言した。祖母が経営する乗馬クラブで小2から馬術に親しんできたライオンは、若さに似合わない強いこだわりを持っている。

馬術にはハノーバー、ウオームブラッドなど専

外国産より跳躍力劣り…技術も一から教育

用品種があり、欧米ではサラブレッドより多く生産される。速く走るサラブレッドにかなう品種はない。高く飛びながら馬術品種が一番だ。国内の馬術強豪校も、大会に備え外国産の馬術品種を多数導入している。

OBに競馬関係者が多く、生産者も数多く入学する馬の9割以上はサラブレッド。せっかくなら日本の馬で戦いたいじゃないですか」と原口修コーチ。

大学側も思い同じ。もともと、気性が荒く、足の細いサラブレッドが、すべて馬術競技に向いているわけではない。競馬で見切りをつけた馬のうち、調教師が「素質がある」と判断した馬を譲り受ける。さらに、生まれてからずっと速く走ることを教え

られてきた馬に、障害を跳ぶことや指示通り歩くことを覚えさせないといかない。馬術用として調教された馬を購入するよりかなりの手間だ。

吉田もそれは望むところだ。実家でも譲り受けた競走馬を乗馬用に訓練している。その技術を学べるのも東農大を選んだ理由だ。高校時代から競技の世界に身を置いてきただけに勝利へのこだわりは人一倍。現在は明

大、日大などが強く、東農大の全日本学生三大大会(個人優勝は1997年(障害馬術)が最後だ。一大会で勝つこと、それが第一です。自分は基礎がなっていないけどまだまだ未熟ですが、大学で出られる大会はすべて勝つて、最終的には世界学生選手権が目標です」と闘志を燃やす。

「世界学生が目標」今年6月の関東学生選手権で2位。同月末の関東三大大会はコンビを組んで間もないアルバートル(競走馬名マイブルインディ、シアトルスル

で馬術用の種牡馬になった。93年に5歳で東農大に入り、07年の引退まで数々の大会で優勝した。去勢されていなかったため、引退後はOBのもとで馬術用の種牡馬になっ

駆け上がる!!

「素直がある」と判断した馬を譲り受ける。さらに、生まれてからずっと速く走ることを教え

られてきた馬に、障害を跳ぶことや指示通り歩くことを覚えさせないといかない。馬術用として調教された馬を購入するよりかなりの手間だ。

吉田もそれは望むところだ。実家でも譲り受けた競走馬を乗馬用に訓練している。その技術を学べるのも東農大を選んだ理由だ。高校時代から競技の世界に身を置いてきただけに勝利へのこだわりは人一倍。現在は明

大、日大などが強く、東農大の全日本学生三大大会(個人優勝は1997年(障害馬術)が最後だ。一大会で勝つこと、それが第一です。自分は基礎がなっていないけどまだまだ未熟ですが、大学で出られる大会はすべて勝つて、最終的には世界学生選手権が目標です」と闘志を燃やす。

「世界学生が目標」今年6月の関東学生選手権で2位。同月末の関東三大大会はコンビを組んで間もないアルバートル(競走馬名マイブルインディ、シアトルスル

で馬術用の種牡馬になった。93年に5歳で東農大に入り、07年の引退まで数々の大会で優勝した。去勢されていなかったため、引退後はOBのもとで馬術用の種牡馬になっ



アルバートル号にエサを食べさせる吉田(中西祥子撮影)

◆バイトで飼葉代の足しに 元競走馬なら馬自体は夕方同然だが、一般に飼葉代だけで1頭当たり月15万円前後かかるという。東農大のみならず、多くの大学馬術部員は月に数度、競馬場の放馬止め係などのアルバイトをし、飼葉代の足しにしている。

◆ルパン三世が強かった 東農大史上最大の功労馬は、ルパンIII(競走馬名ヤスコルパン、ノーザンテスト系)だ。93年に5歳で東農大に入り、07年の引退まで数々の大会で優勝した。去勢されていなかったため、引退後はOBのもとで馬術用の種牡馬になっ

1系)と息が合いきらず、障害は21位に終わったが、総合では7位に入った。アルバートルに自分の優柔不断さが伝わってしまったところがありません。もっとできる馬なんです。人馬一体の境地はまだこれから。国産競走馬にこだわった吉田の挑戦は始まったばかりだ。

目を中心。大学では3競技と、その総合成績を争う「全日本学生三大大会」が頂点で、今年11月に兵庫県の三木ホースパークで開催される。

▼東京農業大農友会馬術部 大学創立翌年の1912(明治45)年に乗馬倶楽部として発足。96年、97年に全日本学生三大大会のひとつ全日本学生障害馬術競技大会で個人連覇、2000年、02年に同大会団体優勝。いずれも国産競走馬だけ。部員23人、所属馬14頭。OBから預かっている1頭を除きすべて元競走馬。現在のエース格はスーパーソニック(競走馬名クレインタキシード、サンデーサイレンス系)。